

平成 30 年 2 月 26 日

保護者の皆様

神奈川県立寒川高等学校長

平成 29 年度「生徒による授業評価」集計結果のお知らせ

時下、保護者の皆様にはご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動におきましてご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、本校では生徒の確かな学力を育成するため、学校における教員の指導力向上や授業改善を図るとともに、生徒自らが学習の取り組みを見つめ直す機会とすることを目的に「生徒による授業評価」アンケートを次のように実施しました。集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

本校では、年度当初に全教科共通テーマを「生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力の確実な定着・向上とともに思考力・判断力・表現力等を伸長する授業を展開する。」と決めました。これをもとに各教科で研究テーマを設定し、「校内研究授業→生徒による授業評価→教科による分析→授業実践」のサイクルを2回行って、組織的に授業改善を重ねてきました。「生徒による授業評価」は、教員が授業を見直す重要な資料として活用しております。

今後ともより充実した授業を展開すべく、今回の結果をふまえ、各教科で研究討議・研修等を行い、授業研究に取り組んでいきますので、この機会にご家庭でも学習の取り組み姿勢を振り返り、さらに学習に励むようご指導をお願いします。

- 1 実施時期 第1回 7月6日(木)～7月20日(木)
 第2回 12月11日(月)～12月22日(金)
- 2 対象 在籍生徒全員
- 3 実施教科 14教科
- 4 実施科目 62科目
- 5 質問項目・集計結果 2ページ目をご覧ください。
- 6 集計結果分析

- ・ 第1回評価、第2回評価ともに、ほとんどの項目について8割以上の生徒が肯定的な回答をしており、授業の内容、指導方法、生徒自身の取組状況と、どの観点においても概ね満足していると思われる。
- ・ 理系科目(数学・理科)については、他の教科と比べて全体的に肯定的な回答の割合が若干低く、この傾向は例年と変わらない。理系科目における専門・高度な内容の理解に悩んでいる様子が窺える。
- ・ 多くの教科・質問項目において、肯定的な回答が第1回評価を第2回評価が上回っている。各教科において第1回評価をもとに授業の在り方を分析、検討して授業改善をすすめてきたことが結果に表れた。今後も、生徒の評価に表れるような授業改善を積極的に進めていきたい。

問合せ先
カリキュラム開発グループ
飯塚・酒井・鈴木智
電話 0467-74-7699

2017年度 第1回、第2回生徒による授業評価 質問項目・集計結果

1 質問項目

次の項目を、④かなり当てはまる、③ほぼ当てはまる、②あまり当てはまらない、①ほとんど当てはまらない、の4段階で評価してもらいました。(一部の科目では特性に合わせて質問の文面が異なります。)

授業の準備・ 教材の工夫	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
	2	授業の目標やどんな内容を学習するかが理解できている。
授業の充実感	3	授業で学習した内容がだいたい理解できている。
授業の進め方	4	生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。
生徒主体の授業の工夫	5	授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。
説明のわかりやすさ	6	説明の仕方がていねいで、わかりやすい授業である。
生徒への接し方	7	生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
学習への取組	8	授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどしてわかるうとする努力をしている。
	9	この科目は定期試験・小テスト・作品提出・発表の前に自分で取り組み、努力した。
態度・姿勢	10	授業に対して意欲的に取り組んでいる。
	11	授業中の課題や宿題、ノート・レポートなどをきちんと提出している。
	12	授業のマナーを守って学習している。(携帯電話・携帯音楽プレーヤー・途中の入退室・飲食物・おしゃべり・居眠り・アクセサリ等)

2 集計結果 (第1回結果: ●----- 第2回結果: ▲-----)

質問項目ごとに、当てはまるもの(④かなり当てはまる、③ほぼ当てはまるの合計)の割合を示しました。

